

メッセージ題「献げよ」 <先週の講壇より>

「彼は、神には人を死者の中からよみがえらせることもできる、と考えました。それで彼は、死者の中からイサクを取り戻したのです。これは型です。」ヘブル11:19【新改訳】

105歳で召された聖路加国際病院名誉院長の日野原重明先生は、次世代を担う子供たちにお話する機会も積極的に持っておられたそうです。「君たち、命はどこにあると思う？」と子供たちに問いかけると、みんな胸を指す。「そうだね、そこにあるのは心臓だ。心臓はね、命を動かすポンプみたいなものだよ。命っていうのは、人間が持っている時間のことです。みんなは勉強したり遊んだり食べたり寝たり、自分のことに時間を使っているだろう？でもこれからは、誰かのためにも時間を使ってください。それが“命”を使って生きるということです。」

アブラハムがイサクを自分のものとして握って離さなければ、祝福の源になったでしょうか？ イサクを、大切なものを、命を、時間をイエス様の手に握っていただく時に、それは何倍にもあなたを祝福し、家族を、周囲を恵みで満たして行くのです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021年9月5日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827-6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ2:15

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

